

特別公開

八王子に伝わった「仁徳天皇御陵石棺図」

～「百舌鳥・古市古墳群」世界文化遺産登録へ～

令和元年（2019年）5月14日、ユネスコの諮問機関イコモスは、「百舌鳥・古市古墳群」の世界文化遺産への登録を勧告しました。これを受け、当館が所蔵する落合直澄家文書から、「仁徳天皇御陵石棺」を描いた2枚の絵図を特別公開します。1枚目は石棺の正面図と墳丘の断面図、2枚目は石室と石棺を上から描いた平面図です。

この絵図は、明治5年（1872年）に古墳の一部が崩壊した際に描かれた図の写しと考えられています。八王子出身の国学者落合直澄が所有したことで本市に伝わりました。堺市博物館が石棺を復元する際にもこの図が活用されています。

現在では見ることのできない古墳の内部を描いた貴重な資料であり、世界文化遺産への登録を祝する意味で下記のとおり特別公開いたします。

記

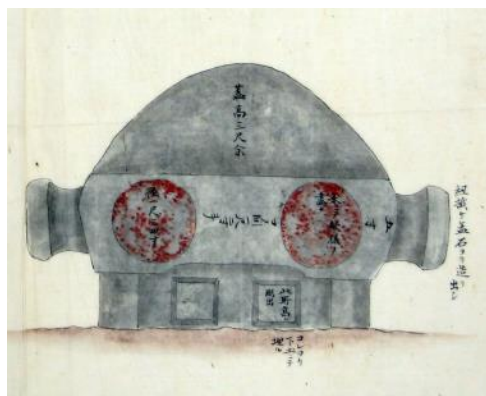
1 日 時

6月26日（水）～8月6日（火）9時～17時

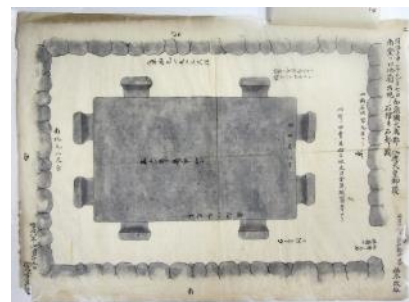
※休館日：月曜日（7月15日は開館）、7月16日（火）～18日（木）

2 開催場所 郷土資料館（上野町33 電話042-622-8939）

展 示 資 料



（落合直澄家文書、八王子市郷土資料館所蔵）



左：「仁徳天皇御陵石棺図」石棺正面図【部分】
上：「明治壬申年九月七日和泉国大鳥郡仁徳天皇御陵南登り口地崩出現の石棺并石郭の図」

<問い合わせ> 生涯学習スポーツ部文化財課長 菅野

電話042-620-7265